

## 議事要旨(2) IASB公開草案「財務報告に関する概念フレームワーク」へのコメント対応

冒頭、小賀坂副委員長より、IASB公開草案「財務報告に関する概念フレームワーク」(以下「概念ED」という。)へのコメント対応について、審議資料に基づき説明がなされた。続いて、関口常勤委員、板橋ディレクター及び紙谷客員研究員より、審議資料に基づき詳細な説明がなされた。

説明に対する委員及びオブザーバーからの主なコメントと、それらに対する事務局からの主な回答は次のとおりである。

### 第 1 章「一般目的財務報告の目的」及び第 2 章「有用な財務情報の質的特性」

- あるオブザーバーより、次のコメントがあった。
  - 文脈に応じて「目的適合性」の概念を明確化すべき旨について、コメント・レターの本文に反映した旨を支持する。
- ある委員より、次のコメントがあった。
  - ASBJ の意見募集に対して寄せられたコメントを本文に反映する方法について、現状の記載振りでは明確さを欠く可能性もあるため、より慎重かつ適切に対応すべきではないか。

### 第 4 章「財務諸表の構成要素」

- ある委員より、次のコメントがあった。
  - コメント・レター案において提案されている「純損益」の定義では、「包括的である旨(all-inclusive)」が必要と考えていることを読み取ることができないのではないか。このため、純損益は企業が得たりターンのうち当期の事業活動に結び付くものとしたうえで、包括的なものであると記載する定義案も考え得るのではないか。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- ご指摘のとおり、コメント・レター案では、「純損益」の定義に包括的(all-inclusive)であるべき旨は直接的には表現されていない。しかし、同コメント・レター案では、当該定義のガイダンスに関する記述において、不可逆性と包括的を満す必要がある旨を示しているほか、定義とガイダンスを一体として考えるべきであることを提案している。

### その他の質問

- ある委員より、次のコメントがあった。
  - 概念フレームワークのディスカッション・ペーパー(以下「概念 DP」という。)では、概念フレームワークの主たる役割は、首尾一貫した概念に基づく基準を開発す

る際に IASB を支援することである旨が示されていたが、その根拠は何であったか確認したい。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- ▶ 概念 DP では、概念フレームワークには多くの役割があるものの、首尾一貫した概念に基づく基準を開発する際に IASB を支援することが特に重要と考えられたことから、これを主たる役割と位置付けることが提案されていた。しかし、概念 DP に対するコメント・レターでは、提案に反対するコメントが多く寄せられたため、概念 ED では当該役割は他に想定される役割と並列的な位置付けとすることが提案されている。当委員会は、概念 DP に対するコメントにおいて概念 DP の提案を支持しており、概念 ED の提案に対して、同様のコメントを記載することを考えている。
- ある委員より、次のコメントがあった。
  - ▶ 概念フレームワークの主たる役割を IASB による基準開発の支援に位置付けるべきとする提案については、その他の ASBJ の提案が受け入れることを前提として、支持する。

最後に、事務局から、本日の委員会における意見を踏まえてコメント文案を修正し、最終化していく旨の説明がなされ、英文化作業及び字句等の修正は委員長に一任することを前提に、IASB に概念 ED に対するコメント・レターを提出することが了承された。

以 上